

事例 5：水道管布設の際、管口に手をかけ管とバックホウのバケットとの間に手を挟まれた。

施工

土木・建設工事

挟まれ・巻き込まれ

バックホウでの掘削作業中、管の脇に退避していた作業員が、ぬかるみに足をとられ、足を引き抜こうとして布設してあった管の管口に右手をかけたところ、バックホウのバケットとの間に右手を挟まれた。

原因

- ・建設機械誘導員、オペレーター、作業員の安全確認の連携がとれていない
- ・避難場所が狭かったため、重機掘削箇所からの避難が不十分
- ・掘削内の作業用床が十分に確保されず

結果：負傷

- ・右手人差し指、中指及び薬指を骨折

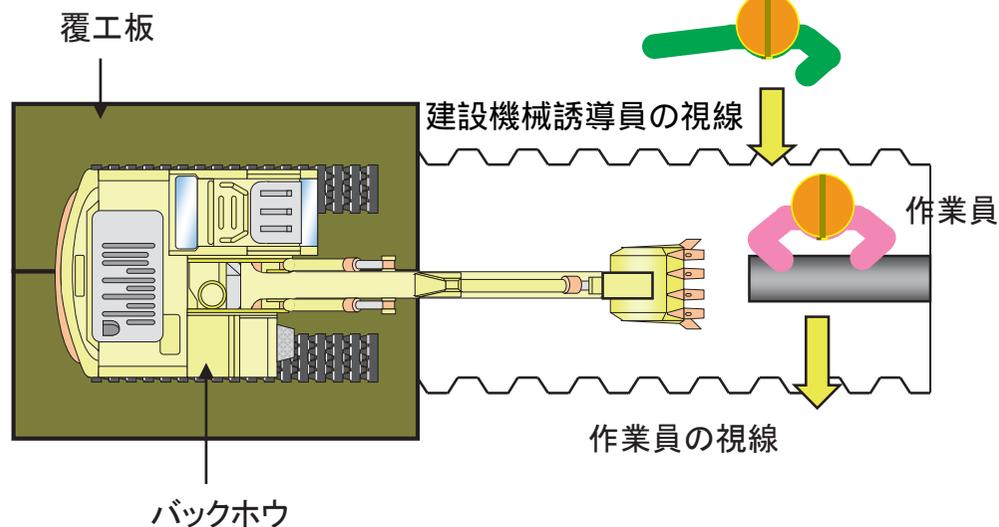
教訓

建設機械誘導員は合図時に作業員の位置や手元を必ず確認する。掘削内の避難場所は1.5m以上確保する。確保できない場合は地上に退避する。足元がぬかるむ場所では、再生砂をまき、水替をこまめに行い、足場を確保する。

行動

- ・作業員は、建設機械誘導員が掘削OKの合図を送った後に、管口に手をかけた。

建設機械誘導員



建設機械誘導員からは、作業員の手元が見づらい。

作業員からは、建設機械誘導員の合図が見づらい。

バケットを手前に返したときに右手を挟まれた。

